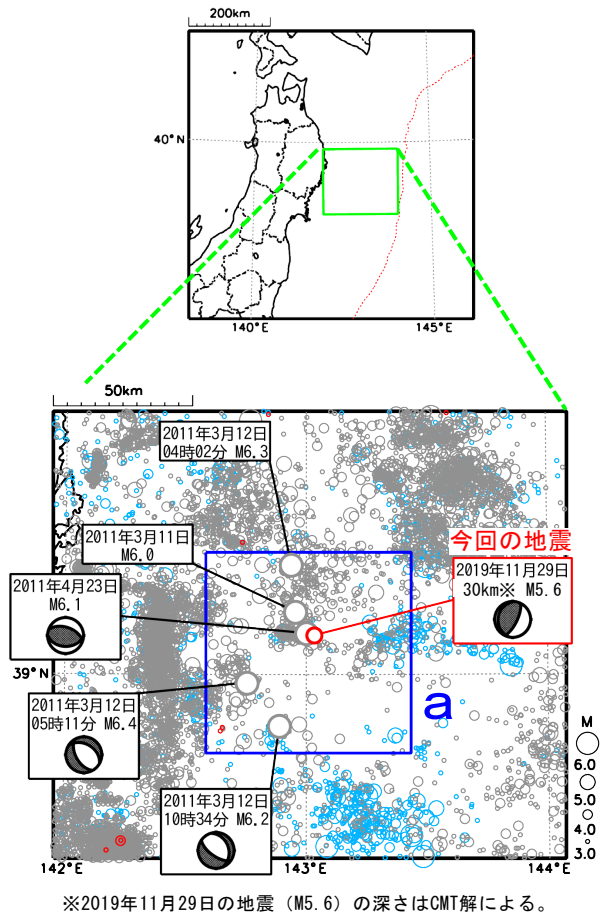


11月29日 三陸沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2019年11月30日、
 深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
 2011年3月10日以前の地震を○、
 2011年3月11日以降の地震を○、
 2019年11月1日以降の地震を●で表示
 図中の発震機構はCMT解

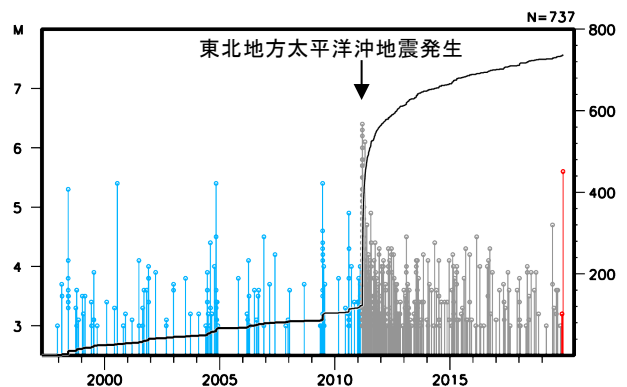


2019年11月29日13時01分に三陸沖の深さ30km (CMT解による) でM5.6の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸をもつ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

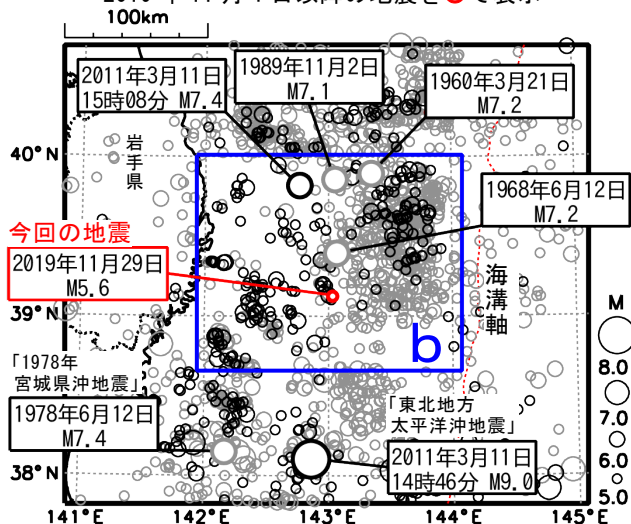
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、M5.0を超える地震が時々発生していたが、「東北地方太平洋沖地震」の発生直後、活動が活発化し、2011年4月までにM6.0以上の地震が5回発生している。2011年5月以降も「東北地方太平洋沖地震」の発生以前に比べて活発な活動が継続していたが、M5.0以上の地震が発生したのは、2011年4月以来である。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M7.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年11月30日、
 深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
 2011年3月10日以前の地震を○、
 2011年3月11日以降の地震を○、
 2019年11月1日以降の地震を●で表示



領域b内のM-T図

